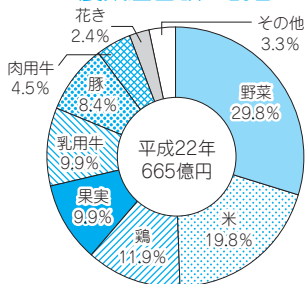


# 農林水産業

## 農業に関する指標

指標名	鳥取県	順位	全国	年次
農業産出額 (農業就業人口1人当たり)	1,989千円	41	3,168千円	22
農家世帯割合	14.11%	5	4.74%	22

## 農業産出額の割合



資料 農林水産省「平成22年農業産出額」

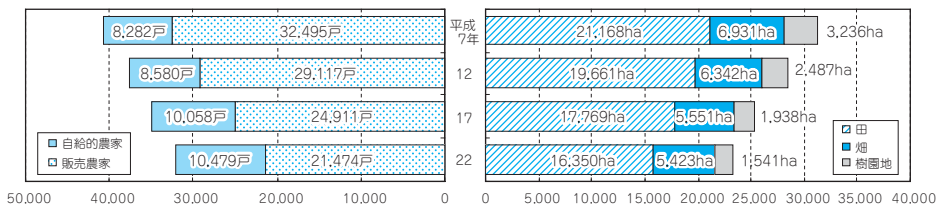
## (農業)

平成22年の農業産出額の割合をみると、「野菜」の占める割合が最も高く、次いで「米」「鶏」「果実」の順となっています。

また、作物統計調査によると、本県の特産物である「日本なし」（平成23年）は21,000tで全国5位の収穫量、「すいか」（平成22年）は20,100tで全国4位の収穫量、「らっきょう」（平成20年野菜生産状況表式調査）は3,958tで全国2位の収穫量となっています。

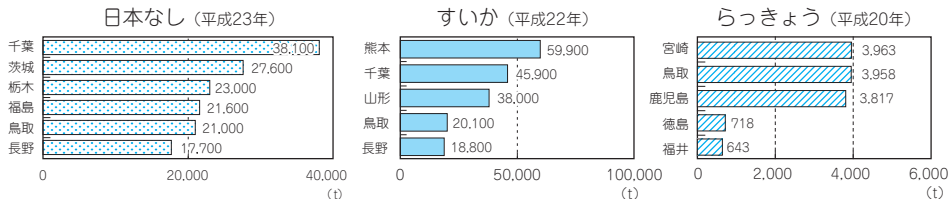
なお、「二十世紀なし」については平成19年より品種ごとの調査を止めたため「日本なし」に含まれています。

## 農家数及び経営耕地面積（販売農家）の推移



資料 農林水産省「農林業センサス」

## 日本なし・すいか・らっきょうの収穫量



資料 農林水産省「作物統計調査」、「野菜生産状況表式調査」

## 農家人口・農業就業人口・耕地面積（販売農家）

単位：人・ha

年次	農家人口			農業就業人口			耕地面積		
	総数	男	女	総数	男	女	田	畑	樹園地
平成7年	150,350	72,845	77,505	50,716	20,653	30,063	21,168	6,931	3,236
12	132,779	64,489	68,290	46,572	19,627	26,945	19,661	6,342	2,487
17	109,124	53,153	55,971	41,071	18,207	22,864	17,769	5,551	1,938
22	88,181	43,125	45,056	33,433	15,864	17,569	16,350	5,423	1,541

資料 農林水産省「農林業センサス」

# 農林水産業

## (林業)

昭和55年から平成22年までの木材統計による素材生産量の推移を見ると、昭和60年以降減少傾向が続き平成17年には130千㎡を割り込みました。その後増加傾向になっており、平成22年は207千㎡になりました。

## (水産業)

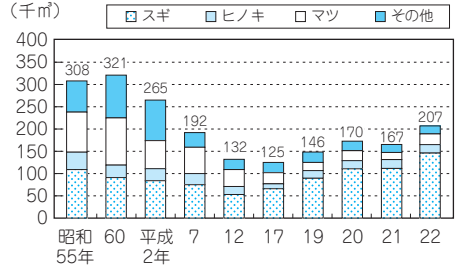
平成23年の鳥取県における海面漁業の漁獲量は6万3,874 tで前年に比べ2,083 t減少しました。

また、魚種別漁獲量の推移を見ると、平成22年に比べ「あじ類」が大幅に増加、「ぶり類」「さば類」はかなり減少しました。

水産業に関する指標

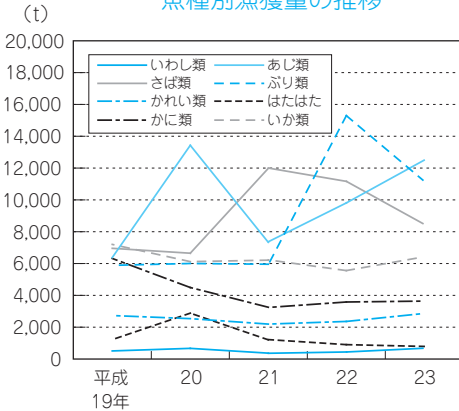
指標名	鳥取県	順位	全国	年次
海面漁業漁獲量	63,900t	18	3,796,500t	23
海面漁業生産額	158 億円	24	9,709 億円	22

樹種別素材生産量の推移



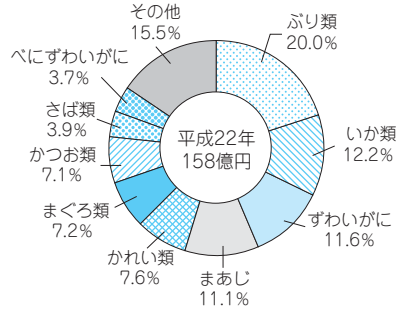
資料 農林水産省「木材統計」

魚種別漁獲量の推移



資料 中国四国農政局鳥取農政事務所「海面漁業漁獲量」

漁業生産額の割合



資料 農林水産省「漁業生産額」

海面漁業魚種別漁獲量

単位：t

区分	平成21年	平成22年	平成23年	区分	平成21年	平成22年	平成23年
海面漁業計	56,394	65,957	63,874	さわら類	185	274	407
魚類計	46,116	55,829	52,791	えび類	192	173	131
いわし類	368	409	719	かに類	3,253	3,750	3,650
あじ類	7,335	9,828	12,571	ずわいがに	1,119	1,233	1,142
さば類	11,980	11,257	8,539	べにずわいがに	2,131	2,515	2,500
ぶり類	5,957	15,425	11,266	貝類	561	542	529
ひらめ	53	63	55	さざえ	125	174	132
かれい類	2,194	2,520	2,852	いか類	5,998	5,323	6,442
はたはた	1,201	1,023	819	するめいか	4,077	3,682	4,693
たい類	262	277	252	たこ類	128	124	112
まだい	165	146	151	海藻類	100	127	133

※主な魚種のみ掲載しているため、計と内訳の計は一致しない。

資料 中国四国農政局鳥取農政事務所「海面漁業漁獲量」